

横浜イングリッシュガーデン等、訪問先の紹介

担当：相鉄沿線地区ネット健生クラブ



横浜イングリッシュガーデン：

横浜イングリッシュガーデンは、春から秋にかけて1200種類以上のバラを中心とした庭園です。横浜の気候風土に合った季節ごとの花々が咲き誇ります。バラは、横浜市の花です。敷地の広さは、6600㎡程度です。ローズトンネルの下にある観葉植物で、清涼な空気と木陰の爽やかさを感じます。

ゆっくり散歩しても1時間～1時間半程度あれば、回れます。また園内に、バラをモチーフにした小物や雑貨を扱うお店『コピスガーデン横浜』があります。

ヨコハマくらし館：

“人と住まいと環境”のことを考えたライフデザイン展示場。

リフォーム、住宅設備、エネルギー機器、ホームセキュリティなど住まいに関するものなら何でも、実物を見ることが出来ます。生活をより豊かに、快適のお手伝いします。

横浜松原商店街

松原商店街では、地元横浜地産の野菜、神奈川や静岡の近隣港から直接仕入れの鮮魚等がいっぱい。「ハマのアメ横」とも、呼ばれています。

季節の野菜やくだもの、活きのいい魚、お肉、乾物、衣料品と、お店は店頭にも所狭しと、商品を広げ、いわゆるホンモノの「マルシェ(市場)」がここに 있습니다。

お店の売り子さんは自分で仕入れて自分で売る。店員と会話しながら楽しいお買物、そんな気分が味わえる個性的な商店街です。

橘樹神社：

創建は約800年間、源頼朝が、関東の平定を祝し、京都祇園社(現・八坂神社)から勧請したため、当神社社も「祇園社」と称されていた。かつての社名「天王宮」が天王町の地名の由来になったと言われています。